

## 平成25年度第4回天童市教育委員会協議会について（報告）

日 時 平成26年1月22日（水） 午前10時  
場 所 教育委員会 第一会議室

### < 報 告 >

---

#### （1）中学校生徒の事故に関する経過報告等について

委員長：ただいまから、本日の協議事項であります中学校生徒の事故に関する経過報告等について報告をお願いします。

教育長：1月20日（月）に議会総務教育常任委員会へこれまでの経過等報告を行いました。

私からは、「やりきれない事件、痛恨の極み、亡くなった生徒はつらさを心の中に秘めて耐えて救いを待っていたに違いない。先週土曜日の朝には校長から、なぜ、気づいてあげられなかったのか、悔しくて悔しくてならない。」との内容を伝えました。

今後は第三者委員会を設置し、原因等を追及していく予定。

その後、元木学校教育課長から一連の経過報告を行っています。

委 員：議員からはどういった意見があったのか。

事務局：第三者委員会に対する内容や、いじめがなくなるまでもっと親身に子供の声を聴く体制づくりをお願いしたいこと、また、子どもの心に寄り添い、サインを出しやすい環境づくりをお願いしたい等の意見が出されたところです。

委 員：人との関わりに関する繊細な部分について、前向きに向き合うチャンスだとも思う。いじめの心の傷、仲間の思いやりについて改めて考えていただきたい。

また、ある保護者の声として、まじめにいじめをなくそうとする子が逆にいじめに合うような学校の雰囲気も時にはあると聞いている。

委 員：今回の生徒からのサインについて先生が気づかなかった、先生の目に映らなかった一面もあったようだ。生徒のサインを読み取る感性を磨く努力もほしい。

委 員：今回の生徒への対応は一人の先生が対応しているようだったが、複数の職員で問題を共有化する必要もあったと思う。保護者の協力や地域での見守りなど、学校だけではなく複合的に見守る体制作りが改めて求められると思う。

教育長：現在の生徒、教職員が一日も早く通常の学校運営に戻るよう我々も支えていかなければならない。